

科目名	栄養指導実習	科目分類	<input type="checkbox"/> 基礎教育科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門教育科目
			<input type="checkbox"/> 卒業必修 <input checked="" type="checkbox"/> 栄養士必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Practice in Nutrition Education	開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年
ふりがな	ささだ ようこ	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当教員名	笹田 陽子	授業形態・修得単位	実習・1単位
授業のテーマ	対象者（個人または集団）の栄養評価と栄養診断を踏まえ、栄養介入のための栄養教育プログラムの計画立案の方法を修得する。		
授業概要	様々な対象を設定して、課題の発見、課題の解決を図る栄養指導を計画・実施・評価を実習を通して行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者の食事調査結果から栄養素等摂取量、摂取食品の評価ができる。 2. 対象者の栄養評価から栄養診断・栄養目標の設定・栄養介入の作成ができる。 3. 対象者にあった栄養評価項目（栄養状態、生活習慣、環境等）を選択し、栄養診断ができる。 4. ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育が展開できる。 		
授業時間外の学習	事前学修：事前に次回の課題について教科書を読んでおくこと（30分） 事後学修：実習のレポート課題を仕上げること（30分）		
履修条件	栄養指導論Ⅰの単位を修得していること、栄養指導論Ⅱを履修していることが望ましい。		
授業計画			
第1回	テーマ：ガイダンス 栄養評価①		
第2回	テーマ：栄養評価②食事調査(1) 秤量法		
第3回	テーマ：栄養評価③食事調査(2) 栄養素等摂取量評価		
第4回	テーマ：栄養評価に基づいた栄養診断・栄養目標の設定・栄養介入（計画）・栄養介入（実施）計画の作成		
第5回	テーマ：栄養評価（発表）		
第6回	テーマ：幼児を対象とした栄養教育①（個別：事例）		
第7回	テーマ：幼児を対象とした栄養教育②（発表準備）		
第8回	テーマ：幼児を対象とした栄養教育③(発表)		
第9回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育①高齢期の栄養教育（ポスター作成）		
第10回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育②高齢期の栄養教育（ポスター評価）		
第11回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育③乳幼児の栄養教育(テーマ設定・教育プログラムの作成)		
第12回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育④乳幼児の栄養教育(学習指導案の作成)		
第13回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育⑤乳幼児の栄養教育(教材の作成)		
第14回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育⑥乳幼児の栄養教育(模擬講義の実施)		
第15回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育⑦乳幼児の栄養教育(模擬講義の評価)		
第16回	定期試験		
テキスト	笠原賀子他「栄養教育論第4版」講談社サイエンティフック		
参考文献・資料	日本人の食事摂取基準2020 プリントを配布する		
成績評価の方法	出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。 課題レポート（50%）、プレゼン（30%）、実習への取り組み（20%）で総合的に評価する。		
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)		
オフィスアワー	実習終了時に教室で質問等を受けます。		
受講生に望むこと・受講のルール	積極的に授業に参加すること。レポートは提出期限を守ること。		